

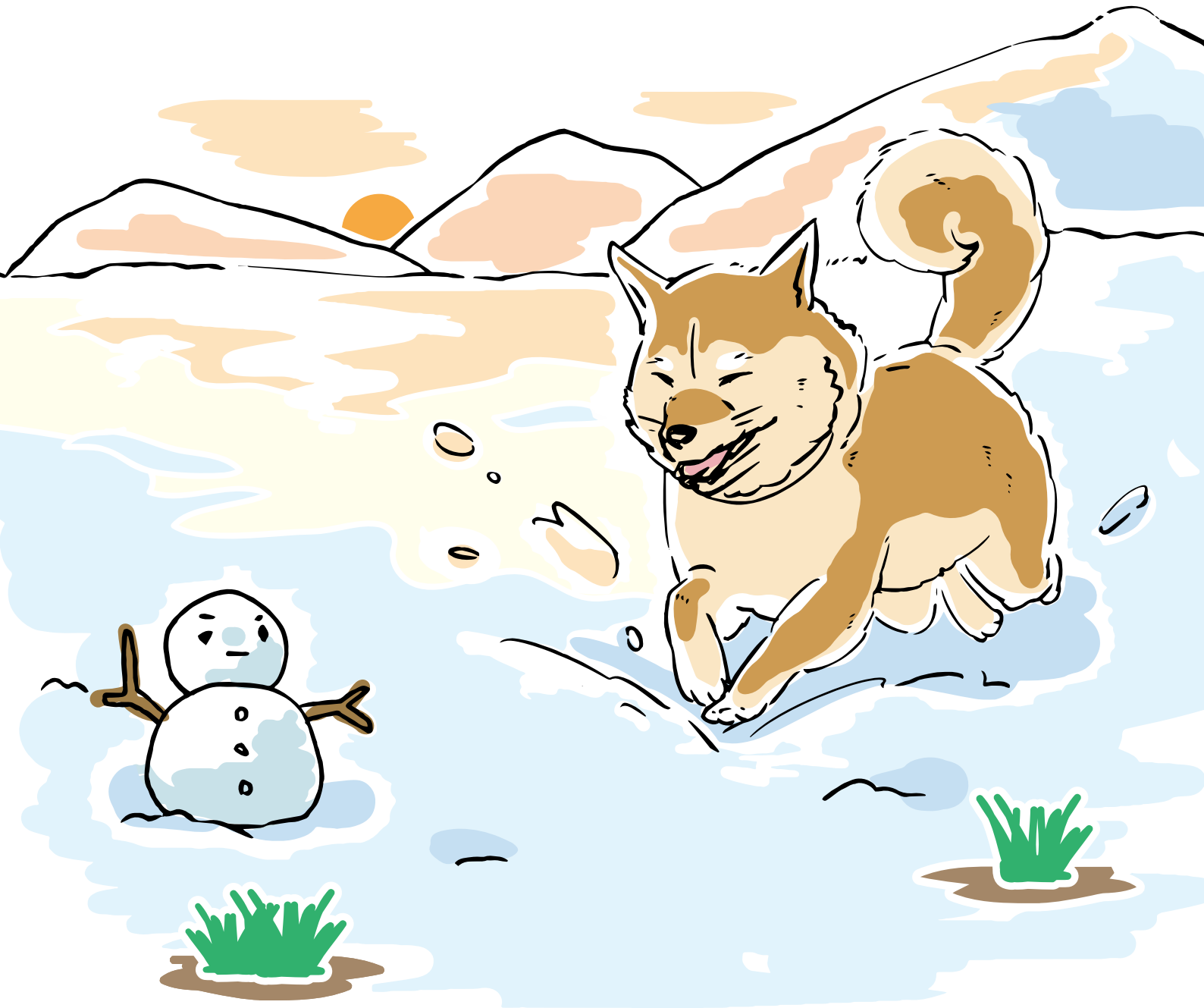
シルバー連合会

ふくおか

第41号
平成30年1月発行

FUKUOKA No. 41

県知事挨拶	1	人材育成事業報告	5
会長挨拶	2	安全就業について	6
普及啓発促進月間活動報告	3	介護セミナー案内	7



年頭の「ごあいさつ」



福岡県知事 小川 洋



あけましておめでとごいさつします。

昨年は、7月の九州北部豪雨により、朝倉市、東峰村を中心に甚大な被害に見舞われました。県では、発災直後から、人命救助など応急対応、被災地の皆さまの生活再建支援、道路、河川、農地などの復旧に全力で取り組んできました。一日も早く被災された皆さまが元の平穏な生活とお仕事に戻っていただけるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

福岡県シルバー人材センター連合会におかれましては、多くの高齢者の皆さまに就業と社会参加の機会を提供され、会員数約2万5千人、年間受注額104億円と大きな業績を上げられています。榎井会長をはじめ、関係者の皆さまのご尽力に深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

昨年、9月、政府におきましては、超長寿社会における経済・社会システムのあるり方を検討する「人生100年時代構想会議」が設置されました。急速な高齢化の進展に対する対応は、国を挙げて取り組むべき喫緊の課題となっております。

平成30年度の政府予算案では、シルバー人材センターに関する予算は増額要求となっており、人手不足の分野や現役世代を支える分野におけるシルバー人材センターの活躍がより一層期待されています。

本県では、全国の動きに先駆けて、年齢にかかわらず、誰もが社会で活躍できる「70歳現役社会」の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。平成24年に初めての高齢者のための総合支援拠点として、「70歳現役

支援センター」を開設し、現在、県内4箇所におフィスを設け、再就職やボランティア活動などさまざまな相談を受けています。

これまでに約12,600人の高齢者が登録、そのうち5,900人を超える人が職場やボランティアの現場で活躍されています。

貴連合会には、「70歳現役支援センター」への出張相談をはじめ、地域での子育ての相談や子どもの預かりなど、子育ての現場で活躍してもらう「ふくおか子育てマイスター」の養成講座を実施していただいています。

また、高齢者の活躍の場を広げる「70歳現役職域発掘創造事業」では、介護を学ぶセミナーの開催など多大なご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

今後とも、就業や社会参加を希望する多くの高齢者の皆さまの気持ちに応えるため、ともに「70歳現役社会」の実現に取り組んでいただきますようお願いいたします。

新年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

いあいらび



公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会
会長 櫛井 正喜



輝かしい平成30年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、皆様が「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、シルバー人材センター事業の推進にご尽力いただきましたことに対し、心からお礼申し上げます。

さて、我が国では今、どの国も経験したことのない少子高齢化社会が進んでおり、働き手、地域社会の担い手をいかに確保するかが国の将来を握る大きな課題とされています。

このような状況の中、高齢者の有する知識と経験を活かしながら長年にわたり地域を支え続けているシルバー人材センターには、地域社会を維持・発展させる力として大きな期待が寄せられています。

現在、国において、「一億総活躍社会の実現、そして人生100年時代を見据えた社会の在り方について様々な検討が行われていますが、人生後半の一つの生き方として、シルバー人材センター事業は、今後、ますます大きな役割を担うことと想われます。

リンダ・グラットン／アンドリュー・スコット著の「LIFE SHIFT (100年時代の人生戦略)」が大きな話題を呼びましたが、まさに長寿時代のLIFE SHIFTの二つの選択肢として、長年にわたり、地域社会の一員として、会員の皆さんに生きがいを提供し、地域における福祉の増進や活性化に寄与してきたシルバー人材センター事業について、積極的な情報発信

を行い、より多くの方々にシルバー事業に参加していただけるよう、努力をしてみたいと思います。

一方、シルバー人材センター事業の大きな課題として安全就業がありません。

「安全は、すべてに優先する」と言われますが、剪定作業時の転落事故、除草作業における石飛事故、交通事故などの事故が繰り返し発生しています。今一度、事故事例に学びながら安全就業対策の見直しを行い、事故0を目指そうではありませんか。

最後になりますが、時代はシルバー人材センターの活躍を求めています。

県下各シルバー人材センターが力を合わせて発展を目指しますとともに、平成30年が皆様にとって素晴らしい年となることを祈念し、新年のご挨拶といたします。



梅吉
おじいちゃん

梅子
おばあちゃん

10月はシルバー人材センター事業
普及啓発促進月間です



福岡市 ひよっこ踊り



直方市 おいしいもの



連合会 子ども広場

とっても楽しかったね!



朝倉市 甘木絞り



筑紫野市 リフォーム作品



川市 さげもんや小物



大盛況だったぞ!



うきは市 柿・梨など



糸島市 癒しのこけ玉

素敵なものばかり!



嘉麻・桂川広域 特産品&籠

シルバーフェスティバル 2017

シルバー人材センターの事業や活動を紹介する、年に1度の大イベント

10月21日、22日にRKB毎日放送会館においてシルバーフェスティバル2017を開催しました。県内の11センターに参加していただき、様々な出展物が並びました。台風の影響であいにく2日は午後1時までの開催となりましたが、シルバー人材センターの存在を大いにアピールできた2日間でした。

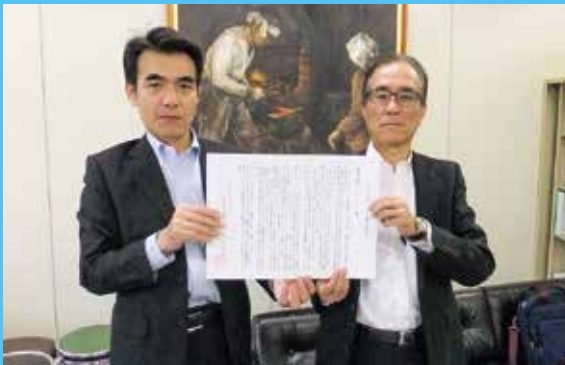
福岡市は今年も手作り作品の数々がたくさん並び、筆耕や人形作りなども実施されました。ひよっこ踊りは昨年に続き大好評。ステージでの披露も予定されていたのですが、雨で中止になり残念でした。来年はもっと多くの方々に見ていただきたいです。

筑紫野市はリフォームしたおしゃれな洋服の

福岡県と福岡県議会に 要請文を提出しました

この程、平成29年度普及啓発促進月間における事業の一環として、10月19日に櫛井連合会会長より福岡県知事及び福岡県議会議長あてに要請文を提出しました。

福岡県知事には福岡県福祉労働部 労働局長 樋口直樹氏、及び福岡県議会には、福岡県議会議長 樋口 明氏に「シルバー人材センター事業の推進について」へのご支援をお願いしました。



(左)福岡県福祉労働部 樋口労働局長 (右)福岡県連合会 櫛井会長



(左)福岡県連合会 櫛井会長 (右)福岡県議会 樋口議長



須恵町 アイデア手作り作品



大川市 木作品等



大牟田市 パッチ作り



数々を、須恵町は工夫を凝らした様々な種類の小物類を製作、販売しました。どちらもデザイン、配色など洗練されていて世代を問わず人気でした。うきは市の柿・梨は試食がたくさん用意され、「甘いーおいしいー」と大人気でした。オリブの塩漬けも初登場、そちらも定番になりそうです。嘉麻・桂川広域では地元の特産品と会員さん手作りのカゴを販売。形、大きさ、色ともに様々で、どれも欲しいという声が聞こえてくるほどの出来栄でした。

大牟田市は昨年好評だった缶バッジ作りをサイズを増やして出展し、今年も親子連れを笑顔にしています。糸島市の苺玉もすっかり定番。その付まいを眺めるだけでも癒されました。直方市はお弁当、綿菓子、いきなり団子にぼた餅など食担当です。人気の天むすはそうそうに売り切れ、綿菓子には恒例の行列ができていました。柳川市は色鮮やかな「さげもん」、大川市は木工の町ならではの木を使った様々な作品を並べてくださり、こちらも行きかう人々の目を惹かせてくれました。

また、九州北部豪雨の被災地である朝倉市はこんなときこそ、と二日間とも参加。甘木しぼりで作られた作品の数々はそれは見事で、人々の足を止めていました。復興への道のりは大変なものですが、シルバー人材センターが元氣な朝倉を見せてくれたことで、朝倉市、杷木町を応援する思いに溢れた場となりました。連合会では今年も子どもひろばを開設。びゅんびゅんゴマづくりをたくさんのごもたちと一緒に楽しみました。

今年も会員さんの元氣な姿や活動の成果を大いに見ていただくことができました。シルバー人材センターについて少しでも知っていただく機会になっていたら嬉しいですね。

平成29年度 高齢者活躍人材育成事業



各種技能講習会を開催し、多くの方に受講していただきました。

厚生労働省福岡労働局からの受託事業である「高齢者活躍人材育成事業」は、シルバー人材センターが実施する派遣、請負・委任での就業や、職業紹介による就職に役立つ基礎知識・専門知識を学ぶ事を目的として、技能講習会を開催しております。

多くの会員の方々、これからシルバー人材センターに入会を希望・検討されている一般の方々に、シルバーセンターを通して就業していただくための技能や知識を習得していただいております。



緑地管理
(古賀市)



刈払機
(岡垣町)



農業支援
(うきは市)

安全運転
(新宮町)



パソコン講習では、講師手作りのシニア向けテキストが大好評でした。また、新しい知識を学ぶ事ができ、アツと言う間に3日間が過ぎてしまいました。安全運転講習では、急制動の体験や実技指導により、運転の基本と自分の欠点を再認識しました。緑地管理講習では、剪定の仕方を実技で具体的に学ぶと共に、安全作業について強く認識しました。店舗スタッフ講習では、お客様が買い物を気持ち良くしていただけるように、接客・品揃え・陳列等を、座学とロールプレイングで学びました。刈払機講習では、機械の知識や安全な操作術を、座学と除草作業の実技にて学びました。

なお、パソコン・安全運転・刈払機講習は、本年度初めての開催です。

開催にあたり、福岡県シルバー人材センター連合会では、各地域のシルバー人材センターと共に展開できていることに感謝し、残りの講習会に全力で取り組み、より多くの会員の方々の就業に向けて一層の支援となりますように行ってまいります。



公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会
電話番号:092-292-1857
(人材育成事業係直通)



安全就業について

平成29年度は、安全目標に「重篤事故の撲滅及び石飛事故の防止（前年事故件数の半減）」を掲げスタートしましたが、平成29年2月、3月に発生した事故で被災会員が4月、7月に死亡し、さらに6月にも死亡事故が発生しました。

この多発する重篤事故のため県から強い指導を受け、以下の根本的対策を報告し、研修会等での根本対策の周知徹底、安全パトロールでの周知、指導を継続して実施しているところです。

根本的対策

- 1 事故発生原因を色々な要因から分析し、再発防止対策を立て、就業会員全員で実施する。
- 2 再度過去の事故事例を検証し、事故発生原因を追究する。
- 3 作業前の安全確認ミーティングを確実に実施する。
(当日の健康状態の確認、就業場所の危険箇所確認・対策の実施など)
- 4 安全パトロールでの指導を強化する。

以上、就業する会員が自ら考えて行動することを大前提に実施する。

しかし、その後も8月に就業途上の自転車転倒事故（現在も意識不明で入院）、9月にもガードレールを突き破り、約15m下のJR線路に転落し、走行中の列車に衝突し死亡するという事故が続いています。

平成29年度の傷害、賠償事故は、前年度より多少は減少しているものの、「今まで事故が起こらなかった」、「このぐらいは良いだろう」など、勝手に自分で思い込んだ「～だろう」事故が多いように感じます。

就業するということは、危険（事故）と背中合わせであり、絶えず「～かもしれない」という考えで就業しないと、事故は減らないと思います。安全のための努力に「やりすぎ」はありません。就業する会員自らがそのことを実践することで、「自らの体は自ら守る」ことになります。

事故、特に重篤事故を二度と起こさないために、「～かもしれない」運動を展開していただきたいと思ひますし、安全パトロール時には、「～かもしれない」という考えで臨みたいと思ひます。

ご安全に!



介護を学ぶセミナーを開催しています

「送迎」「配膳」「清掃」など、資格がなくてもできる介護の周辺業務で働いてみたい60歳以上の方を対象に昨年に続きセミナーを開催しています。今年度は残すところ3月6日、7日に行われる北九州会場のみとなりました。介護の職場では人手不足に悩むところも多く、シルバー人材センターへの依頼も増えています。どういった現場なのかを知っていただくための施設見学も実施しますので、少しでも興味をお持ちの方はぜひお申込ください。定員は20名、先着順で受け付けます。

<北九州会場>

3月6日(火) 10:00~16:00	北九州市シルバー人材センター(小倉北区片野新町)
3月7日(水) 10:00~12:00	特別養護老人ホーム ひだまり(小倉北区片野)

■セミナーの内容(カリキュラム)

地域	科目	内容
一日目	介護とは	介護の意義、目的、介護保険についてなど
	介護の基本	高齢者の心身の理解、言葉かけ、基本的態度など
	認知症を知る	認知症とは、症状、ケアのポイント、予防など
二日目	介護の現場をみてみよう	事前説明、現場見学
	何を感じましたか?	質疑応答、アンケート実施など

お問い合わせ

福岡県シルバー人材センター連合会 092-623-5656

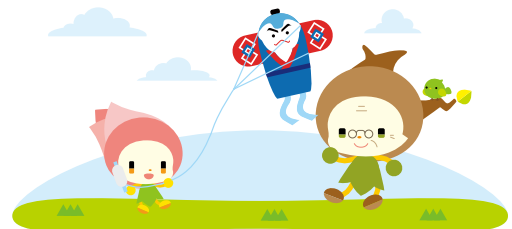
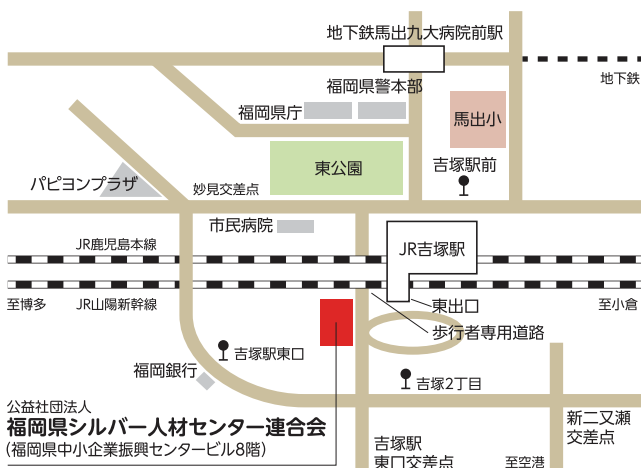
会員募集 & お仕事承ります!

シルバー人材センターの仲間を増やそう!

すでに会員としてご活躍の皆様、ぜひシルバーの楽しさを周りの方々へお伝えください。会員仲間を増やし、ますます元気あるシルバー人材センターを目指しましょう。

地域の中の困りごとをお助けします!

地域の中の「困った!」に応えます。まずはお近くのシルバー人材センターまでお気軽にお電話ください。



公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル8F

TEL 092-623-5656 FAX 092-623-5677

ホームページ <http://www.fscr.or.jp>